

大東文化大学大学院 文学研究科 英文学専攻 修士課程 1年  
渡辺 桃花 (2023年4月入学)

こんにちは。大東文化大学大学院 文学研究科 英文学専攻 修士課程 1年の渡辺桃花です。私は昨年まで本学科に所属しておりました。英米文学科の授業では、様々な小説や演劇などの授業を通して英米の文化や背景を学び、その思考や言葉の表現の知識を獲得することに面白さを感じました。単語1つから歴史的な背景や、作者が意図していることしていることが垣間見え、授業を重ねていくうちに物語が立体的に見えてくるようになります。この4年間で、多角的な視点から物語を深堀することが大切であると実感しました。そしてほかの作品にも触れてみたい、深く研究してみたいと思い、大学院に進学しました。現在大学院では英文学を専攻しており、19世紀後半から20世紀にかけて活躍したキャサリン・マンスフィールドの短編小説を研究しています。

私からのアドバイスとしては、大学生の間に多くのことにチャレンジしてほしいと思います。学生という期間だからこそ思い切ることができるのが沢山あると思います。授業のみならず、いろいろな場所に足を運んでみたり未経験のことに挑戦したりと「経験値」を増やして、ぜひ充実したキャンパスライフを送ってください。

そして大学院生が TA (Teaching Assistant) として学部生に対して学業面や学校生活に関する相談を受け付けている TA ブースという場所を設置しています。留学について、レポートの書き方や英語学習方法など相談内容は何でも構いません。大学院のことをよく知りたいという学生さんも気軽にいらしてください。なにか参考になるようなお話ができればと思います。詳細は大学 HP、DB ポータルに掲載していますのでご参照ください。